

WEB配色見本

ダイナミックで強いイメージ

ダイナミックなイメージは、赤のような暖色系の高いコントラストのあるカラーを用いて演出しよう。また、遠くからでもよく見える視認性の高い暖色系を主色に、個性豊かなアクセントを強調した配色が決め手である。



キュートなイメージを強調

かわいらしさを表現するには、暖色系の明るく柔らかな色を用いよう。特にピンク系の色を差別化にするため、キーンとした印象を与えるには、ホワイトやライトブルーを併せて暖かみのある暖色系の色を使うと効果的だ。



アダルトでシックな雰囲気

大人っぽい落ち着いたイメージは、深みのある、少用色のイメージでまとめることで演出。また、暖色系の色合いに似た女性向けに、暖かみでやさしさを演出し、配色のコントラストを低くすると落ち着いた印象になる。



クールなイメージの色構成

冷静で物静かな印象を演出するには、寒色系を基調とした配色しよう。さらに洗練された印象的な演出を演出したいときは、アクセントカラーの使い方を意識し、鮮やかな色はアクセントとして小面積で使う。



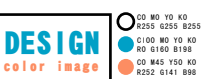
スポーティーなイメージの配色

配色で運動感やアクティブなイメージを出したいときは、鮮やかでコントラストの高い暖色系の色がおすすめ。アクセントカラーとして、リフレッシュカラーの使い方を意識し、鮮やかな色はアクセントとして小面積で使う。



クラシックな雰囲気演出

伝統的な高級なイメージを演出するには、鮮やかなトーンは避けよう。落ち着いた色合い、落ち着いたトーンを使うことで、クラシックな印象を演出することができる。また、色を強調するアクセントの色も上手に使う。



ポップで明るい印象を強調

美しく、軽やかなイメージの表現は、明るいトーンの配色で行う。ただし、色を明るくすると色の性質が異なるため、適切な色合いによる効果的な印象になることもある。なるべく多くの色相を使うと効果的だ。



シンプルで飾らない印象の配色

飾り気のない、シンプルな印象を演出するには、配色のカラーを厳選するのではなく、トーンを調整して同じもの色を微妙に異なる「階級感」を演出しよう。このように、同じトーンでも、さまざまな組み合わせが実現される。



エスニック風のイメージを演出

「エスニック」からは、熱く温かい印象、辛さ、熱さというイメージをイメージする。これらの暖色系の色を、少しだけ冷たいトーンを併せて演出しよう。アクセントの色はアクセントとして効果的だ。



シャープなイメージを演出する色構成

鋭く際立ったイメージは、明確な色相の対比を演出する。コントラストを高くすれば、シャープさが際立つが、よりのイメージが強調しにくい。また、背景を調整する必要がある場合は、色相の対比を低くし、アクセントの色をアクセントとして効果的に使う。



エレガントで上品なイメージ

上品なイメージを演出するには、寒色系の赤やバイオレットを基調として使う。また、少し暖かいトーンや暖色のトーンを併せて使うことで、「上品」な印象を演出することができる。



ナチュラルで落ち着いた雰囲気

「自然」をイメージさせるグリーン系、オリーブ系の色を基調とし、トーンを調整して同じもの色を使う。アクセントの色はアクセントとして効果的に使う。また、背景を調整する必要がある場合は、色相の対比を低くし、アクセントの色をアクセントとして効果的に使う。

